

発行／出雲市文化環境部環境政策課減量推進係 E-mail:kankyoseisaku@city.izumo.shimane.jp

〒693-8530 出雲市今市町70 ☎0853-21-6988 FAX 0853-21-6597

○ 出雲ごみダイエット速報 (エネルギーセンター搬入実績：燃えるごみ)



平成24年(4月～10月累計)	平成23年(4月～10月累計)	増加
28,500トン	27,962トン	101.9%

ダイエット失敗!・・・538トンの増加。ごみを減らそう!!

いずも古着市開催

10月27日(土)、28日(日)に湖陵コミュニティセンターにおいて、いずも古着市が開催されました。いずも古着市は、市民の皆様から不要となった古着を引き取り、お求めの方へ販売するイベントです。衣類をごみとして出さず、リユースを促進する目的で開催されます。



〈27日：古着持ち込みの様子〉



〈28日：販売会場の様子〉

2日間で約700人の来場があり、約7,000枚の古着の持ち込みと、約2,000枚の販売がありました。古着の売上金191,200円は、出雲市環境基金へ積み立てられ、リサイクル団体回収補助金や、リサイクルステーションの設置経費等に充てられます。

売れ残った古着約5,000枚については、中古衣類や工業用ウエスとして、リユース、リサイクルされます。

家庭ごみアンケート調査

市では、ごみの減量化と再資源化を進めるためのアンケートを8月に実施しました。出雲市在住の方から無作為に1,200名を選んでアンケートを郵送し、522件の回答が得られました。

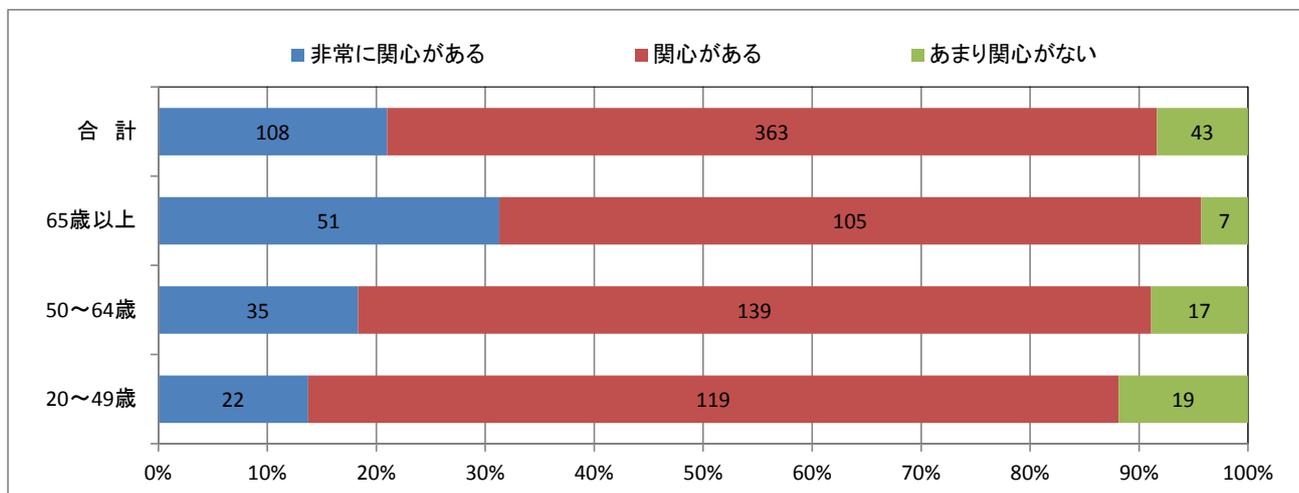
○ごみ処理に対する関心等

ごみ処理に対する関心等の調査結果を表1、図1に示します。市民の「ごみ減量化やリサイクル」への関心は高く、90%以上から「関心がある」という回答が得られました。

表1 ごみ処理に対する関心等

	回答者数				構成割合			
	20～49歳	50～64歳	65歳以上	合計	20～49歳	50～64歳	65歳以上	計
非常に関心がある	22	35	51	108	13.5%	18.1%	31.3%	20.8%
関心がある	119	139	105	363	73.0%	72.0%	64.4%	69.9%
あまり関心がない	19	17	7	43	11.7%	8.8%	4.3%	8.3%
全然関心がない	1	0	0	1	0.6%	0.0%	0.0%	0.2%
無回答	2	2	0	4	1.2%	1.1%	0.0%	0.8%
合計	163	193	163	519	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図1 ごみ処理に対する関心等



○家庭から出るごみの量について

不燃ごみ、資源ごみについては、過半数の家庭で毎回指定袋サイズ小1袋程度以下に抑えられていました。一方、可燃ごみについては、表2のとおり、過半数の家庭で毎回指定袋サイズ大1袋程度以上出されており、依然として多いままとなっています。

表2 家庭から出る可燃ごみの量

	平成18年度		平成24年度	
	回答数	割合	回答数	割合
毎回サイズ大4袋程度	8	1%	17	3%
毎回サイズ大2袋程度	104	19%	78	15%
毎回サイズ大1袋程度	264	48%	237	45%
毎回サイズ小1袋程度	113	21%	110	21%
あまり出さない	59	11%	26	5%
その他	0	0%	47	9%
無回答・無効	2	0%	7	1%
合計	550	100%	522	100%

○ごみ減量化への取り組み状況

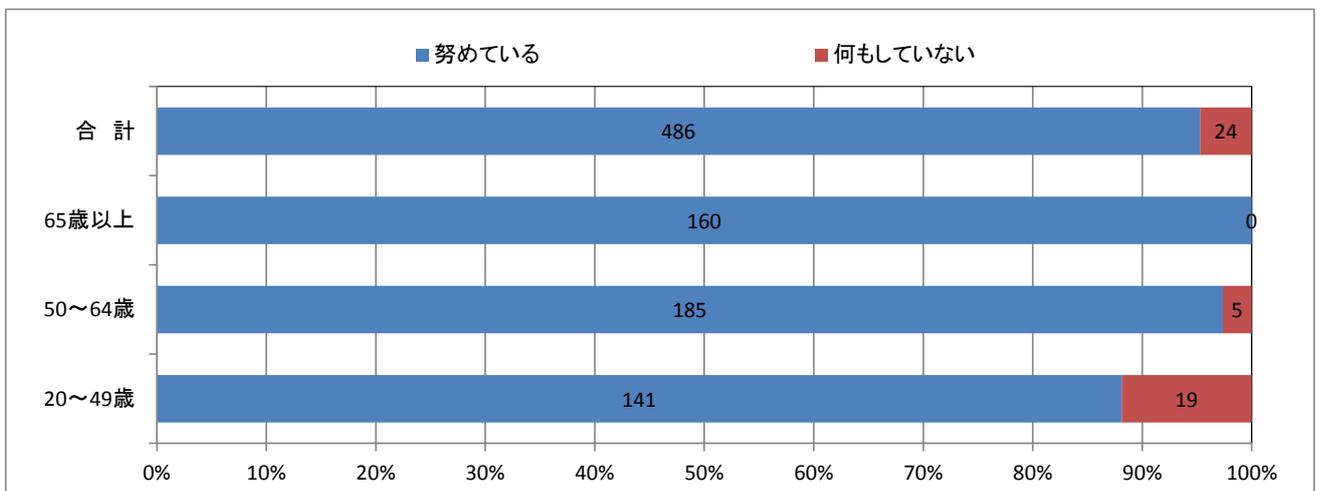
1) 減量化への関心

ごみ減量化への取り組み状況を表3、図2に示します。ごみ減量化に対して、「ご家庭では、日常、ごみの減量化に努めておられますか」という質問に対して、「努めている」という回答が約90%あり、ごみ処理への関心も高いことがわかりました。

表3 ごみの減量について

	回答者数				構成割合			
	20～49歳	50～64歳	65歳以上	合計	20～49歳	50～64歳	65歳以上	計
努めている	141	185	160	486	88.1%	97.4%	100.0%	95.3%
何もしていない	19	5	0	24	11.9%	2.6%	0.0%	4.7%
合計	160	190	160	510	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図2 ごみの減量について



2) 各家庭でのごみ減量の取り組み状況

各家庭でのごみ減量の取り組み状況を表4に示します。マイバック持参の割合が最も多く、回答者のうち84%の方が実施されていました。しかし、他の取り組み状況は未だ低いままとなっています。特に生ごみに関しては、平成18年度に実施したアンケート調査と比較して、水切りの徹底で27ポイント、生ごみ処理機の活用で13ポイントの減少となっています。実際、前回の「出雲ごみダイエット通信」でご紹介した組成調査の結果でも、水分を多く含んだ生ごみが多く出されていることが分かっています。生ごみの水切りは、どこのご家庭でも簡単にできることですので、ご協力をよろしくお願いいたします。生ごみの堆肥化については、「出雲ごみダイエット通信」の第1号、第2号で詳しく紹介していますので、ぜひご覧ください。

表4 各家庭でのごみ減量の取組状況

家庭でごみを減らすため何をしていますか？	平成18年度		平成24年度	
	回答数	割合	回答数	割合
生ごみの水切りの徹底	412	75%	251	48%
生ごみ処理機器を活用した生ごみの減量	129	23%	67	13%
マイバック持参での買い物	232	42%	435	84%
詰め替え商品やリサイクル商品など エコ商品の積極的な購入	368	67%	284	55%
繰り返し使えるビール瓶や一升瓶は酒屋に返す	383	70%	230	44%
過剰包装などを断る	302	55%	164	32%
少々高くても長持ちする商品を購入する	269	49%	76	15%
不用品を他人に譲ったり、バザー等に提供したりしている	300	55%	148	28%
無回答・無効	-	-	34	7%
合計 ※割合は兩年度とも項目ごとに総回答者数に 対する割合です。 総回答者数（H18:550人、H24:522人）	2395	-	1689	-

特に減量化の取り組みを実施していない方の理由として、減量化に関する情報が不足している、面倒くさい、といった回答が得られました。市では、こうした方々へもごみ減量化に取り組んでいただけるよう、減量化に関する情報を積極的に発信していきたいと考えています。今後も、ごみの減量化にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。